平面計画

3階（1006㎡）【議会・バックヤードフロア】

■開かれた議会を目指し、議会の傍聴もできる町民開放ラウンジをつくります。
■機械・電気室、サーバー室、書庫を、水害の心配がない3階に配置します。

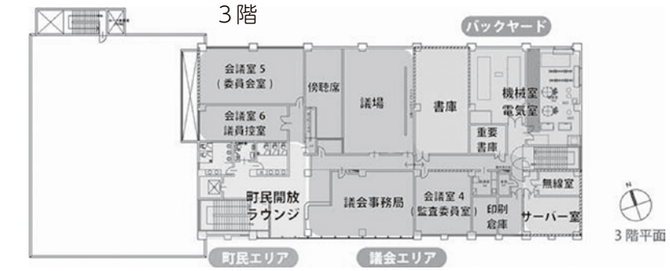
2階（1264㎡）【執務・消防フロア】

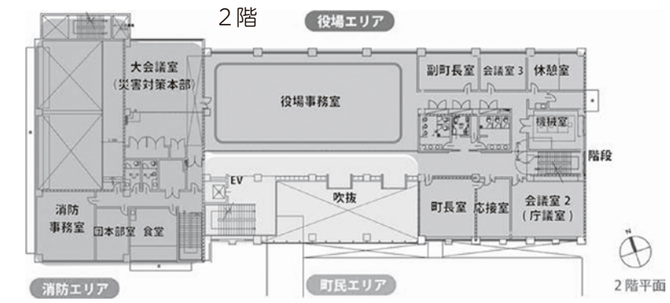
■町長・副町長室、会議室、総務課・建設課・産業振興課・農業委員会を配置し、事務機能を集約します。
■1階からつながる吹き抜けによる開放的な空間とし、来庁者が気軽に入りやすい場所にします。
■災害対策本部となる大会議室を中心に、役場と消防が連携しやすいレイアウトにします。

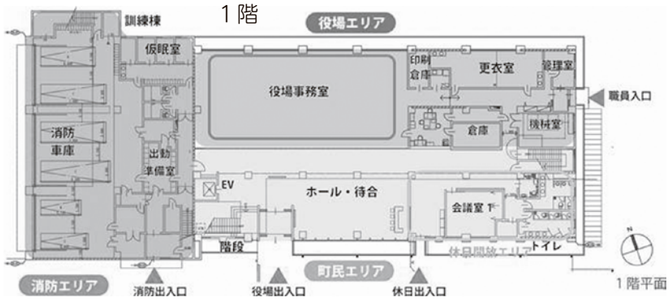
1階（1513㎡）【窓口・消防フロア】

■入口近くにエレベーターと階段を配置し、わかりやすい動線にします。
■窓口カウンターはプライバシーに配慮したつくりとし、相談室やキッズスペースも配置します。
■休日も一部を開放し、バス待合として利用できるようにします。
■消防車庫は十分なスペースを確保し、迅速な出動態勢を整えます。

合計面積　3,783㎡







町民ホール

南側が全面ガラスの町民ホールは、小さなコンサートができそうな広々とした明るい空間です。カフェスペースにはぬくもりの感じられる木製家具を配置します。

窓口とホールの間は適度な距離をとり、周りの目線を気にせずリラックスしてゆっくり過ごせる場所にします。

また、フリーWi-Fiスポットや大型モニターを設置し、観光・イベント・議会などのさまざまな情報を発信します。

1階町民ホールイメージ

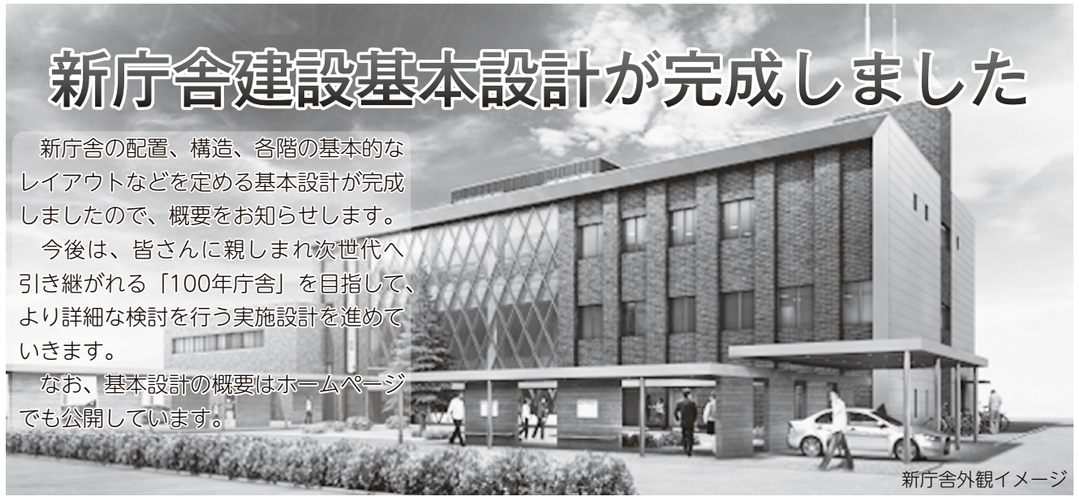
※　事業費、面積、レイアウト、外観デザインなどは、実施設計で変更する可能性があります。

新庁舎建設基本設計が完成しました

新庁舎の配置、構造、各階の基本的なレイアウトなどを定める基本設計が完成しましたので、概要をお知らせします。

今後は、皆さんに親しまれ次世代へ引き継がれる「100年庁舎」を目指して、より詳細な検討を行う実施設計を進めていきます。

なお、基本設計の概要はホームページでも公開しています。


新庁舎外観イメージ

概算事業費 約25億円

・庁舎本体工事	17億4900万円
・車庫・倉庫、外構工事	3億2300万円
・解体工事	1億8700万円
・その他（設計・備品など）	2億4100万円

左記以外にも電話設備や庁内システム・ネットワークの移設などの費用がかかります。

新庁舎の基本的な考え方

■全ての人が利用しやすい庁舎

【町民の交流拠点としてにぎわいのある「明るい庁舎」をつくります】

・窓口機能を1階に集約し、戸籍、年金、公営住宅の手続きなど、サービスがワンフロアで受けられるようにします。
・分かりやすい室内表示、ゆとりのある通路、多目的トイレ、授乳室、キッズスペースなど、誰もが安心して利用できる庁舎にします。
・気軽に利用できるカフェやバス待合を兼ねた広く開放的なホールにします。
・庁舎からバス停をつなぐ庇のある動線は、天候に左右されないバリアフリーな空間にします。
・内装、建具、家具などに木材をつかい、ぬくもりが感じられる心地よい場所にします。

■防災拠点となる強い庁舎

【震度6強の地震にも耐えられる高耐震構造により「町民を守る庁舎」をつくります】

・自家発電設備や非常用排水ピットなどを備え、電気や水道が止まった場合でも災害対策本部や窓口業務が継続できるようにします。
・重要データを保管するコンピューター室は床免震を採用し、機器の転倒を防ぎます。

■経済的で維持管理しやすい庁舎

【建築面積を抑えた「コンパクトな庁舎」をつくります】

・役場部分は3階建てでシンプルな四角形とし、必要な機能をコンパクトに収めます。
・耐久性の高いレンガなどの外装材を採用し、維持管理費用を抑えます。
・外断熱工法、ＬＥＤ照明、地中熱の利用など、省エネルギーと環境負荷低減に配慮します。

■機能的で柔軟性のある庁舎

【明快な平面構成による「使いやすい庁舎」をつくります】

・事務室は柱のない大きな空間とし、将来のレイアウト変更にも柔軟に対応します。
・長寿命な構造と改修・更新が容易な内装や設備により、時代の変化に合わせて変わっていくことができる庁舎にします。

■問合せ：庁舎建設推進事務局　☎76-2131